

オナシカワゲラ科の仲間

Nemouridae sp.

オナシカワゲラ科



オナシカワゲラ科の仲間（幼虫）

撮影：宮下 力

名前の由来

オナシは「尾無し」で成虫の2本の尾が一節しかないためである。カワゲラは不明。漢字名：尾無川螻

形態的特徴

幼虫の特徴：薄い茶褐色で小型。幼虫の後翅包（翅になるところ）は側方に広がる。エラはあるものとなないものがある。

成虫の特徴：オスは体長約5～7mm、メスは体長約6～8mm。全体に濃褐色で、肢は黄褐色。翅は半透明で褐色に色

づくことが多い。

類似種と見分け方：ミジカオカワゲラ科。

後肢の第二附節は第一附節より短い。ミジカオカワゲラ科は同長か長い。

生息環境・分布

河川、細流から湿地・湿原・湖沼の浅い岸部分など。流れが遅く落ち葉のたまった淀みを好んで生息する。

環境省・国交省水質調査：「きれいな水」の指標(カワゲラ)

分布：国外分布は、北半球の温帯と寒帯・東南アジア。国内では日本全土に分布。北海道内では、普通に分布。

十勝地方では、普通に分布。

食性・他の生物との関わり

落ち葉等を餌とする。魚類などの餌となる。



オナシカワゲラ科の仲間(成虫) 撮影：宮下 力

繁殖生態・寿命

メスは腹部先端に球状の卵かいを付けて、不安定な上下飛行を行い、ポトンと水面に落ちて産み落とす。

早春から晩秋にかけて出現する

興味深い話

■目立たない種だが、アミメカワゲラ科の次に多く見られるグループである。30種程度が日本に生息していると思われるが、分類は進んでおらず、同定(種を見分けること)は

困難である。胸部下面に房状に鰓があるものがフサオナシカワゲラ属、指状に鰓のあるものがユビオナシカワゲラ属、鰓の無いものがオナシカワゲラ属である。

配慮事項

陵地の細流が重要である。オナシカワゲラ類はpH値の変化には耐性があるが、清冽な水質に生息するため、水質汚濁に留意する。

また幼虫の餌となる落ち葉が供給される必要があり、河畔林の保全も重要。

生活サイクル

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
|--------|--|----|----|----|---|----|----|----|----|-----|-----|-----|--|
| 卵期・幼虫期 | [Blue bar indicating presence from Jan to Dec] | | | | | | | | | | | | |
| 成虫期 | | | | | [Red bar indicating presence from May to Dec] | | | | | | | | |

参考文献

「フライフィッシャーのための水生昆虫小宇宙Part I」 刈田敏 釣り人社 2000
 「アングラーのための水生昆虫フィールドノート」 宮下力 出版文化社 2000

「日本産水生昆虫検索図説」 川合禎次 東海大学出版会 1995
 「川の生物図典」 財団法人リバーフロント整備センター 1996
 「水生昆虫アルバム」 島崎憲司郎 フライの雑誌社 1998
 「日本動物大百科昆虫 I」 日高敏隆 平凡社 1996

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ